



左からホテイチク、同タケノコ 太い筍はモウソウチクタケノコ 右 キッコウチク (モウソウチクの変種)

「日本竹類図譜」 第1プレート 明治45年3月 農商務省山林局編並びに刊、複製印鑑蓋木箱へ、全15プレート 蓋表書きに「農商務省山林局編纂、日本竹類図譜」とあり、蓋裏に「大正元年10月18日献上、農商務大臣牧野伸顯」とあり、下記花の博物館記載と同じ出処の文献と考えられる。各プレートはバラのままで紙たとう入包 亮軒記

# 花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 肇 発行所／名古屋園芸株式会社 千460-0005 名古屋市中区東様2-18-13 tel.052-931-8701 http://nagoyaengei.co.jp/

'23 6

名古屋園芸



父へ贈る花

アジサイとあわせてご紹介したいこの時期のおすすりはトルコキキョウ。キキョウの仲間でもなく、トルコ原産でもない不思議な名前。由来は諸説ありますが、バラやカーネーションと並んで馴染みの深い花。華やかであり清楚な印象のトルコキキョウはフラワーコーディネートに欠かせない存在です。日持ちが良いので、この時期おすすりの花になります。

6月は気温や湿度がぐっと高くなるため、日持ちを気にされる時期ではないでしょうか。その点、アジサイやトルコキキョウの日持ちは◎。どちらも他花材との相性は良く、お部屋飾りやフラワーギフトにおいてもおすすりです。今月はアジサイとトルコキキョウで梅雨時のお部屋を涼やかに彩ってみてはいかがでしょうか。

\* \* \* \* \*



ブーケ ¥5,500 (税込)

使用花材 (アジサイ、カラ、バラ、レースフラワー、モンステラ)

芒種 「稲や麦など、穂の出る植物の種を蒔く頃。」



ブーケ ¥5,500 (税込)

使用花材 (トルコキキョウ、アジサイ、キイチゴ、モンステラ)

夏至 「二年でいちばん日が長く、夜が短くなる頃。」

## 二十四節気の花飾り

芒種 夏至

季節の花便り

植物の緑香る6月の花便り。一年を二十四の季節に分け、四季の移り変わりを折り込んだ二十四節気。今月は「芒種」と「夏至」の季節です。季節の移ろいとともに暮らしたる花のある風景を取り入れてみてはいかがでしょうか。

### information.....

## 植生活

### ミニ観葉の鉢植え

日に日にあったかくなってきましたね。ご自宅に飾られている観葉植物たちも、ぐんぐんと成長しているところではないでしょうか？今は観葉植物にとって、とても過ごしやすい時期になります。ちょっとした隙間に、手間はかけたくないけどちょっとグリーンがあったらな、と思うことはないでしょうか？そう思い立ったら飾りやすい小さな観葉植物の一つ新たに迎えてみるのはいかがでしょうか？名古屋園芸おすすめの観葉植物は『植生活』のロゴが目印です。父の日のギフトにもオススメです！



第68図 左：かえで 右：めぐすりのき 第1図 左：あかまつ 右：くろまつ

## 花の博物館

第329回

### 日本森林樹木図譜 一帖

農商務省技師 白沢保美編著 同 丸山宣光画 明治33年2月農商務省山林局発行 小笠原左衛門尉亮軒

本邦森林樹木の内、代表的樹木でかつ有用種を一プレート113種を葉、花、果実の図に加え、幹の樹皮、断面、板目を丁寧に描き、石版多色刷りにて刊行され発表された。全88プレート、立派な綴り紙面張折込折込仕立、杉正目材印鑑蓋箱真田組結箱入りの装丁本である。19世紀の末尾を飾るにふさわしい立派な文献資料と考えられるが、その刊行の意図等を白井光太郎著、「日本博物学年表」あるいは上野益三著「日本博物学史」の二書には記載はない。少数の刊行であったが一般的に知られていない書物であろうか。 さて刊行の多少はとにかく、当文庫蔵本は本箱表書(写真参照)によれば「常宮御殿」の墨書きがあり、常宮を調べた結果左記のことが判明した。

明治天皇の第六皇女、常宮昌子内親王(つねのみやまき)の御影のこと。明治21年のお生まれ。明治41年、竹田宮恒久王(ただのひさひさ)と結婚。竹田宮恒久王は、北白川宮能久親王(きたしろのみやひさひさ)の第一皇子で明治41年に新しく竹田宮の称号を贈り竹田宮初代親王となられたお方と承る。



日本森林樹木図譜 常宮御殿 本箱表書墨書

### #ハイビスカス #おもいきり #楽しむ



南国の花で夏を満喫しましょう！販売も夏のイメージかもしれませんが、販売のピークは6月です。今月はサイズも花色も花形も選ぶのに迷うぐらい店頭に並びますよ。

- #植え替え**

ひと回りからふた回り程度、鉢を大きくして、元気に咲かせましょう。秋まで咲かせるように、購入した鉢はすぐに植え替えましょう。根がしっかり張ります。根づまりや水切れでつぼみや葉を落とさないようにします。つぼみが大きくなるまでにぼろぼろ落ちることがありますがその原因は根づまりか肥料切れどちらかです。
- #肥料が大好き**

元肥をしっかり入れて植えます。さらに緩行性肥料を月1回、液肥も1〜2週間に1回程度与えると、次々咲きますよ。10月まではしっかり肥料を効かせましょう。
- #虫**

放っておくとアブラムシなどがつきやすく、離れにくい。はじめから、害虫予防のスプレーや粒剤の薬で防ぎましょう。
- #花壇に**

花壇で、楽しめます。葉のついていない部分がおよそ3倍程度のボリュームになるので、配置を考えます。秋終わりまで楽しんだら、秋までに成長した枝を半分から1/3程度切り戻して、根も小さくして鉢に入れて室内に入れれば冬越しできます。
- #寒さ #暑さ**

ハイビスカスは、寒さに弱い。10℃を切る11月頃から5月中旬頃は室内の日当たりへ、暖かいベランダでも冷たい風が当たらないように透明のビニールで覆ったり、防寒します。暑ければ暑いほど良さそうですが、35℃を越えるような暑さが続くと実は夏バテして、花つきが鈍ります。真夏は半日陰に移動することをオススメします。花が咲かないから終わり！と思わずに、待ちましょう。秋に気温が落ち着くと、勢いよく咲いてきます。35℃を越えるような高温時期は肥料を控えたほうがよいでしょう。

少しのコツをつかむだけで5か月近く楽しむことができ毎年楽しむことができます。ぜひ楽しんでほしい6月のオススメのお花です。